

5/13(水) 今町小・中PTA合同地区委員会

5月13日(水)に、PTA合同地区委員会を開催しました。その際に、話したことです。

地域の方々からは、明治時代から続く寄付の歴史があり、学校は地域の方々を支えられてきました。その温かいご支援は今も変わらず続いており、感謝申し上げます。このPTA地区委員会は、平成25年度に「会費ではなく寄付金である」との確認がなされ、現在の形となりました。物価高騰が続く折、変わらぬご寄付をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

また、日頃から地域の方々より、子どもたちに関する多くの情報を学校へお寄せいただいております。これは地域の皆様が温かく見守ってくださっている証であり、いただいた情報は「テトル」を通じて迅速に保護者へ共有してまいります。子どもたちは非常に元気です。地域の中で活動する際、時にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。わたし自身もかつて、地域の方々に叱られたりアドバイスを受けたりしながら成長いたしました。今町地区においても、多くの子どもたちがそのような豊かな環境の中で育まれてきたことと存じます。今年度の児童数は355名と、昨年度の356名からほぼ変わらない状況にあります。「地域で子どもを育てる」という地区PTAの趣旨のもと、今後とも子どもたちの健やかな成長をお支えいただければ幸いです。

5/14(木)避難訓練

今年度は昨年度より早く5月14日(木)に、見附市消防本部の方をお招きして、火災を想定した避難訓練を行いました。令和8年度の第1回目の避難訓練なので、授業中に実施しました。基本的な避難の仕方を学ぶとともに、防火扉のくぐり方についても実際に行いました。

消防署の方からは、二つの注意がありました。

①話を少ししていた様子が見られたこと。煙はあっという間に広がるので、吸い込んでしまう危険性が増える。

②走った人がいたこと。転んだりすると、後ろから来た人が上に乗ってしまい危険。

また、山林火災が新潟県でもあったことから、火遊びは絶対しないことや家の人が野焼きのようなことをしていたら、注意してほしいという話もありました。

子どもたちは、消火器を実際に使用しませんでした。使用時の「ピン・ポン・パン」の動きは理解していたようです。

今回は、授業中だったので、帽子やハンカチなど、安全に避難するためのアイテムが揃っていました。しかし、もし見当たらない場合は、頭を守ることと煙を吸わないために口をハンカチの代わりにするもので覆いながら避難をするように話をしました。

昨年度同様、多くの子が、「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」を守って避難し、5分台で避難が完了しました。





つよく さとく やさしい子

今小だより

令和8年5月15日



No.3

HP アドレス <http://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/imasho>

それが大事

校長

運動会が近付くと、思い出すのが、もう30年以上前に流行した大事 MAN ブラザーズバンドの「それが大事」という歌です。その歌詞の一部です。

負けない事・投げ出さない事・逃げ出さない事・信じ抜く事 駄目になりそうな時 それが一番大事

全校集会で、こどもたちに次のような話をしました。

運動会が好きという人もいれば嫌いという人もいます。

わたしは、運動会のときに1位になったとか、ビリになったとかはまったく覚えていませんが、大きな声を出しても、うるさいと言われず、むしろほめられる運動会は大好きでした。普段とは違う独特の世界が好きだったのかもしれない。

わたしの知り合いのアルビサポーターの人たちも、「みんなで声を合わせ、同じ場所で応援するのが好きだ」と話してくれます。当時のわたしの感覚も、それに近かったのかもしれない。

一方で、今のわたしはあの独特な熱狂の世界に対して、少し「怖いな」と感じることもあります。「みんなが同じ」であることを求めすぎると、そこから少しでも外れることが許されない雰囲気につながるのではないか、と思うからです。小学生の頃のわたしの友達も大きな声が出せないという人がいました。周りからもっと声を出してと言われる友達に、わたしは「応援しているからいいんじゃない」と声を掛けたことを思い出します。たとえ同じチームを応援していても、一人ひとりの熱量が違うのは当然のことです。隣の人は赤白組が勝つことよりも、自分の順位の方が大切だと考え、応援にはあまり力を入れないかもしれません。一方、応援に力を入れて、競技にはあまり力を入れない人もいるかもしれません。それぞれ違う気持ちの人たちがこうして一つのところに集まって一緒に活動するのですから、自分と同じ意識の人がいたら、とっても貴重です。また、別の考えを持った人を受け入れることもよい学びになると思います。だから、人は人。自分がどうありたいかを、ぜひ意識してみてください。

歌詞にある「負けない事」という言葉を聞いて、「競争で一番になること」を想像する人は多いでしょう。しかし、常に一番を目指し続けるのは辛いものです。なぜなら、どれほど努力しても結果が伴わないこともあるからです。わたしが皆さんに実行してほしい「負けない事」は、誰かに勝つことではなく、自分自身の心に対する姿勢です。「運動会は苦手だったけれど、最後まで参加できた」、「一番ではなかったけれど、一生懸命に走り切った」、「言われなくても、自分の係の仕事を最後までやり遂げた」……。

運動会では、いや、運動会だけではなく、日々誰かに勝つよりも自分の中で、「負けない事・投げ出さない事・逃げ出さない事・信じ抜く事」を実行してほしいと思います。5月は、一人一人の「それが一番大事」をたくさん見せてください。

学習したことを活用し、互いに高まり合う子2(前回の続きです)

3 基本的な構え

(1) 教職員として

- ①「反省」はするが「悩まない」。失敗を責める文化を捨て、次の一手を考える「アントレプレナーシップ」を自ら体現する。自分を許し、経験を糧にする。
- ②「自分」で決め、「自分」に期待する。誰かのせいにならず、自律的に判断する。他人に過度な期待を押し付けず、今の自分のベストに自信を持つ。
- ③ 褒め言葉や感謝の言葉はすぐに出す。
- ④ 自分の健康や機嫌を整える。

(2) チーム今町として

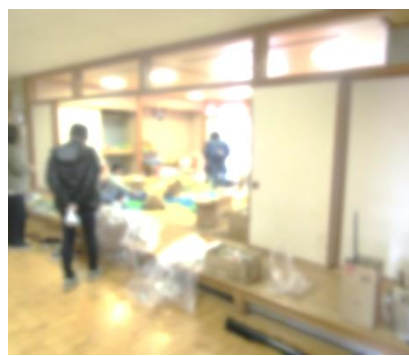
- ①学年担任制・教科専科の徹底:「学級を育てる」から「学年で育てる」へ。
朝・給食・帰りの会のローテーションや授業交換により、多角的な視点で子どもを捉える。
「朝の会・給食・帰りの会」の入れ替え
連絡帳や宿題の確認、保護者との連絡など
「道徳」は一つの教材を2つの学級で授業(教材研究の時間減)
他にも、研究授業で実践したことを隣の学級でも実践するなど、個々で頑張っていたことなどを広めるようにする。また、学年を超えた授業交換についても検討し、いろいろな先生がいろいろな学年の児童と交流する機会を増やす。
- ②「完璧」より「完了」: 膨大な準備で疲弊するより、まずは形にし、実践しながら修正する。行事も授業も「時間内でのベスト」を目指す。
- ③主任の仕事はコーディネーター:主任が仕事を進めるのではなく、チームに仕事を割り振ったり、話し合ったりして、自分がいなくても仕事が進むようにする。

(3) 指導について

- ①「何ができるようにするか」の明確化:宿題や活動の目的を明確にする。形骸化した「いいところ発表」や「終わらせるだけの宿題」は、目の前の児童の実態に合わせて勇気を持って修正・廃止する。
- ②「待つ」指導(啐啄同時):教師が枠にはめるのではなく、子どもが自ら動く瞬間を大切にする。先生の手を離れたときに、子どもたちが自ら考えて動ける力を育てる。
- ③複線型授業(個別最適な学び): 一斉指導だけではなく、子どもが自分のペースや方法を選択できる授業を展開。「自分で考えて、自分で決める」経験を授業の日常に組み込む。
- ④「授業で育て、行事で活かす」への転換を推進する。行事のための練習に時間を費やすのではなく、日々の授業で培った「思考力」や「判断力」を、行事という実践の場で発揮させる形を目指す。
- ⑤教職員一人一人が、その時々「学校の顔」であることを自覚する。
・保護者や地域の方々、来校者、電話等における丁寧な対応・言葉遣いなど
- ⑥今町として取り組んできたことは大切にする。
1, 2年生 花の活動 野菜の活動 3年生 ベと人形 三角だるま(天神祭り)
4年生 防災スクール 凧づくり 5年生 凧揚げ どんと焼き
6年生 SDGsの活動 10月の学校運営協議会での発表 善行表彰への出席 など

5/9(土) 春のPTA環境整備作業

5月9日(土)は朝早くから多くの方々に参加いただき、環境整備作業をしていただきました。ありがとうございました。前日からの雨の影響で、学校内の整備をしていただきました。普段の清掃では手が届かない場所などを清掃していただきました。計画から運営までしていただいたPTA体育環境委員会の皆様、ありがとうございました。



5/13(水) 2年生野菜の苗を買いに行く

2年生は生活科の学習で野菜を育てます。5月13日(水)は、子どもたちが育てたい野菜の苗を買いに出掛けました。自分でお金を払い、自分の野菜という意識を高めることができました。



運動会に向けて

来週は運動会です。今年度は平日に開催します。応援も競技も頑張る子どもたちの姿がたくさん見られると思います。駐車場のスペースは限られていますので、応援にお越しの際は、徒歩か自転車で来校ください。給食がありますので、バス小屋の横のところには絶対に駐車しないでください。

赤組

一致団結～燃えろ赤組～



白組



限界をこえろ！白組の熱気で突き進め！